2026 年度　オンライン「実践予報技術講習会」のご案内

（第 3 期応用コースⅡ）

１．講習対象者

この講習会は気象予報士の資格を有している方で気象に関する業務に従事している方のほか、気象に深い関心をお持ちで、気象予報など基礎的な技術を習得したいと考えておられる方を対象としています。

また、講習の内容は特に高い専門性を必要とするものではありませんので、気象に関わる業務に従事した経験がない方でも興味を持って受講していただけます。

【受講の条件】

本オンライン講習会は、オンラインミーティングツール「Zoom」システムを用いて行います。そのため、この「Zoom」システムを利用できることが必要です。また、実習及び質疑・応答の際に音声及び画像の共有ができることが望ましいです。

２．講習のテーマ

「地上（局地天気図を含む）、高層天気図の解析やレーダー、気象衛星等の資料から現象の理解を深める」です。

３．講習期日

2026 年度の講習会は 5 月から 7 月、9 月から 11 月、12 月から 2027 年 2 月まで、3 か月毎に 3 期に分けて月 2 回、原則として隔週金曜日の夜、18 時 30 分から 21 時の 2 時間 30 分で開催します。

４．講習目標

数値予報の精度向上によって、大雨についてもかなりの精度で、事前予測が可能になってきていますが、災害が発生するような極端な現象については、まだまだ予測が難しい状況で、防災に活用するためには、数値予報と実況との違いを見極める現象の理解が不可欠です。

本講習では、災害をもたらすような現象を理解するために、地上・高層天気図やレーダーや気象衛星を使った天気図解析を中心とした演習に重点を置き、気象現象の理解を目標とします。

資料の読み取り、現象の把握、予測のための検討など、予報に関わる技術を身に付けることは容易ではありませんが、直近に発生した事例を中心に取り上げて、基礎的な段階から繰り返し演習を行うことで豊富な実践的トレーニングを行い、確実な予報技術の向上を図り、防災上の留意点など応用的な技術の習得も目指します。

５．講習の内容と進め方

本講習では、天気図の解析やレーダーや気象衛星の資料から現象を理解するための演習を中心に進め、気象現象を理解することを重点的に行います。

直近の事例を対象として各種天気図に描かれた等圧線や等高度線、渦度や鉛直流などの物理量の解析、解釈などを通して現象の把握、理解のための読み取りポイントを習得します。対象とする気象現象は、梅雨前線による大雨事例や、発達する低気圧、南岸低

気圧による大雪などを予定しています。これらの現象は予測が難しい場合も多いですが、実況を理解することであらかじめ予測に幅を持たせたるなどの対応をすることができるようになります。

講習では、主に気象庁 HP などで入手可能な天気図、解析図などの資料を用います。受講後もこうした天気図や解析図を活用して、受講によって得られた知見を広げることができるように講習を進めます。

なお、今年 5 月より気象庁が新しい防災情報の提供が始まります。講義の中で適宜取り上げることといたします。

第 1 期：基礎演習コース　2026 年 5 月～7 月の 3 か月 6 回

（募集は終了しています。）

現象の理解のための基礎的な講座と合わせて、天気図解析の基本、レーダーや気象衛星の見かたについて演習の時間を多くとって基礎的な解析技術の習得を目指します。

第 2 期：応用演習コースⅠ　2026 年 9 月～11 月の 3 か月 6 回

（募集は終了しています。）

春から夏にかけての災害をもたらすような現象について、実際の事例に基づいて解析を行い、現象の理解したうえで現象の予想まで行います。予測まで行うことで、防災上のポイントを考察することを目指します。

第 3 期：応用演習コースⅡ　2026 年 12 月～2027 年 2 月の 3 か月 6 回

秋から冬にかけての現象について、事例解析を行って現象の理解を目指します。対象とする現象としては、台風に伴う大雨や冬型による大雪、南岸低気圧による降雪も対象とします。直近の事例を多く活用して、身近に感じられるように工夫します。あわせて防災上のポイントを考察することを目指します。

なお、新たな防災気象情報が 2026 年 5 月より始まりました。その後、大雨や台風などによって「レベル５〇〇特別警報」が数多く発表されました。変更点や運用、利用上の注意点などについて振り返りも行います。

第 1 回目　講義　南岸低気圧の大雪 1 実習　2024 年顕著事例解析（実況）
第 2 回目　講義　南岸低気圧の大雪 2 実習　2024 年顕著事例解析（予測）
第 3 回目　講義　冬型　実習　南岸低気圧の解析（実況）
第 4 回目　講義　発達する低気圧　実習　南岸低気圧の解析（予測）
第 5 回目　講義　天気・週間予報　実習　発達する低気圧（実況）
第 6 回目　講義　防災情報　実習　発達する低気圧（予測）

６．講師

講師は、気象庁本庁や地方の現場で永らく実際に予報作業に携わってきた田代 誠司氏です。

講師略歴

現在、NPO 環境防災総合政策研究機構 上席研究員
元　気象庁天気相談所長、　元　前橋地方気象台長

７．募集定員

30 名（先着順）　(各期毎に募集致します。)

８．受講料（教材を含む）

各期　23,430 円　(21,300 円+消費税)

９．申込み方法

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、下記の申込先へ電子メールでお申し込みください。

受講の申込みは先着順です。

メールにより受講の受付け後、受講料の振込先をご連絡しますので、受講料を指定の銀行口座にお振り込みください。

また、請求書・受領書等を必要とされる場合は申込書備考欄に名義と必要書類をお知らせください。

なお、一旦納入された受講料の返金には応じかねますのでご承知置き願います。

宛　先

（一財）気象業務支援センター　「講習会」 担当　宛

E-mail：methiroba@jmbsc.or.jp